

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果及び改善方策について(小6・中3)

市内の小学校6年生と中学校3年生を対象に、平成31年4月18日(木)に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。以下は、その集計結果です。

【目的】

- ①児童生徒の学力や学習・生活状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証・改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実、学習状況の改善等に役立てる。
- ③教育に関する継続的な検証サイクルを確立する。

【調査内容】

①教科に関する内容

小6…国語、算数、理科の3教科

中3…国語、数学、英語の3教科

※今年度から、「知識」と「活用」に分けず、一体的に問う内容となっている。

英語は、初めての実施。……「聞くこと」「読むこと」「書くこと」は筆記。

「話すこと」は、口述式によるもの。

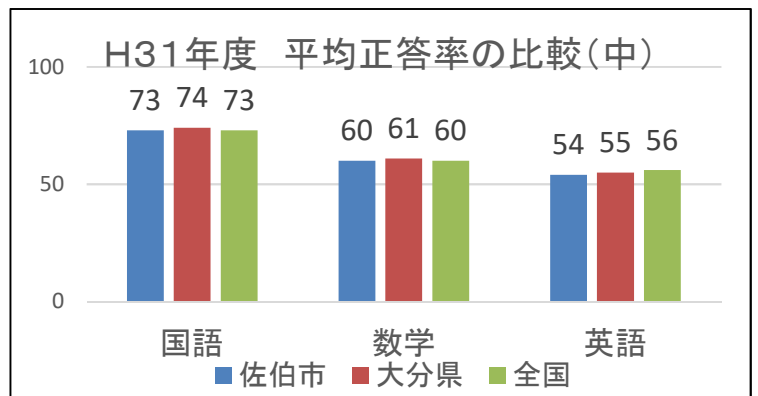
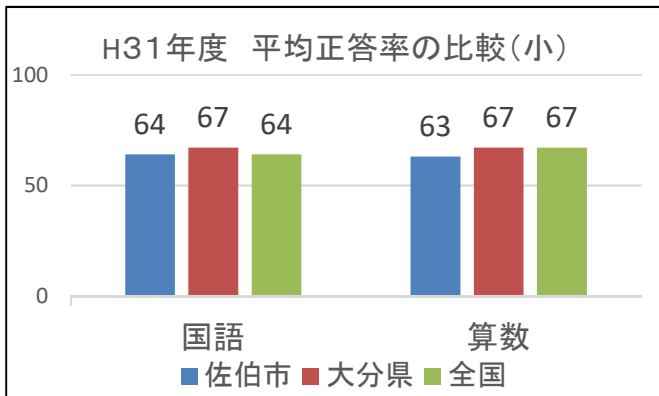
②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒質問紙……学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校質問紙……指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査

【平均正答率(全問題数のうち、どのくらいの問題を正答したかの割合)[%]の全体比較】 ■は全国平均以上

	小学校6年生			中学校3年生			
	国語	算数	合計	国語	数学	英語	合計
佐伯市	64	63	127	73	60	54	187
大分県	67	67	134	74	61	55	190
全国	64	67	131	73	60	56	189



<結果概況>

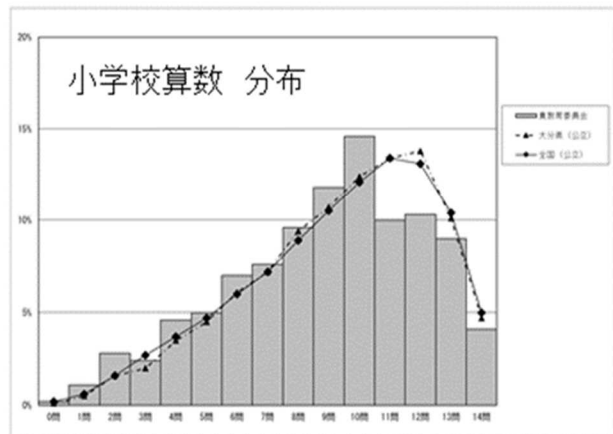
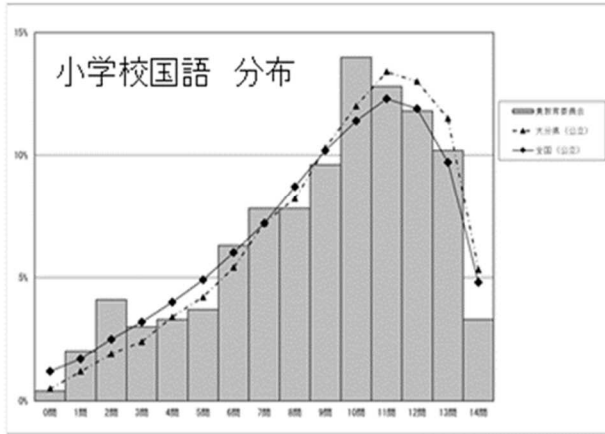
- 小学校では、国語で全国平均と同程度だったが、算数は全国平均を大きく下回った。
- 中学校では、国語・数学で全国平均と同程度であったが、英語は全国平均を下回った。
- 県平均との比較では、全ての教科で下回った。
- 昨年度は、小学校では算数B以外の4教科(国A・国B・算A・理科)で全国平均を上回ったが、今年度は上回った教科はなかった。中学校は、昨年度は数学A・数学Bともに全国平均を下回ったが、今年度は数学は全国平均と同程度になった。

<課題と対策>

- 小学校の算数は、領域別に見ても4領域全てで全国平均を下回っていることから、内容の定着に課題のあることがわかる。算数で「付きたい資質・能力」を着実に身に付けさせるような授業改善を目指す必要がある。
- 中学校の英語は、領域別に見ても、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のいずれも全国平均に及ばなかった。

平成31年度全国学力・学習状況調査概況(小学校)

	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)
佐伯市教育委員会	8.9 / 14	64	8.9 / 14	63
大分県(公立)	9.4 / 14	67	9.4 / 14	67
全国(公立)	8.9 / 14	63.8	9.3 / 14	66.6



小6国語 平均正答率(%)

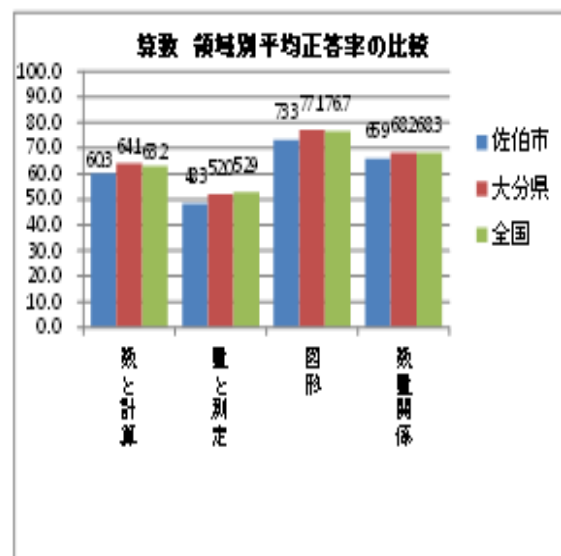
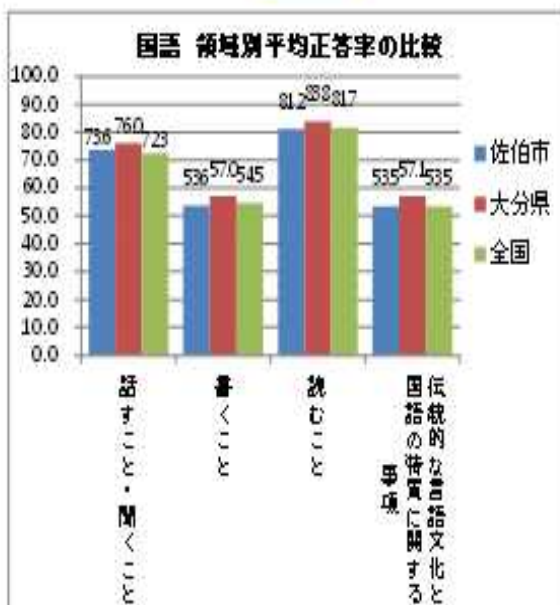
領域別正答率	佐伯市	大分県	全国
話すこと・聞くこと	73.6	76.0	72.3
書くこと	53.6	57.0	54.5
読むこと	81.2	83.8	81.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	53.5	57.1	53.5

は全国平均以上

小6算数 平均正答率(%)

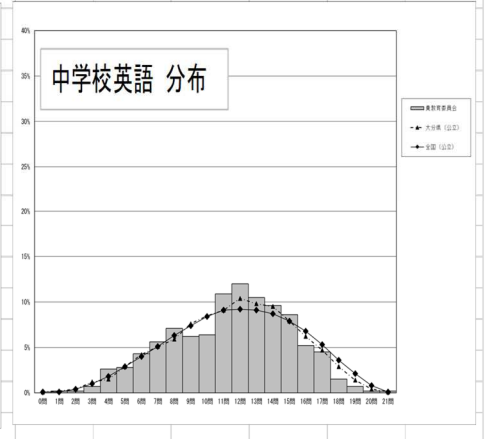
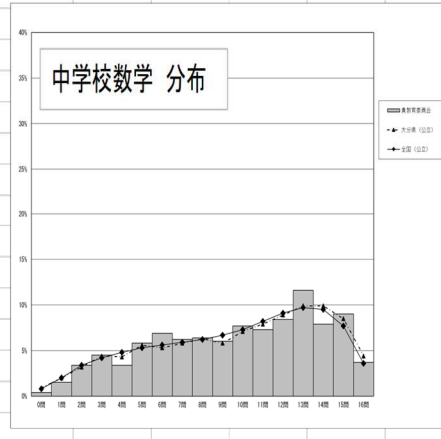
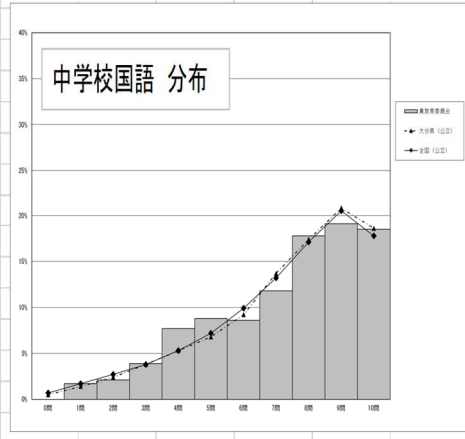
領域別正答率	佐伯市	大分県	全国
数と計算	60.3	64.1	63.2
量と測定	48.3	52.0	52.9
図形	73.3	77.1	76.7
数量関係	65.9	68.2	68.3

は全国平均以上



平成31年度全国学力・学習状況調査概況(中学校)

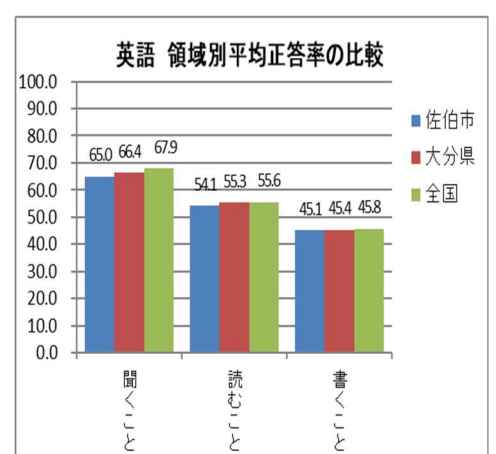
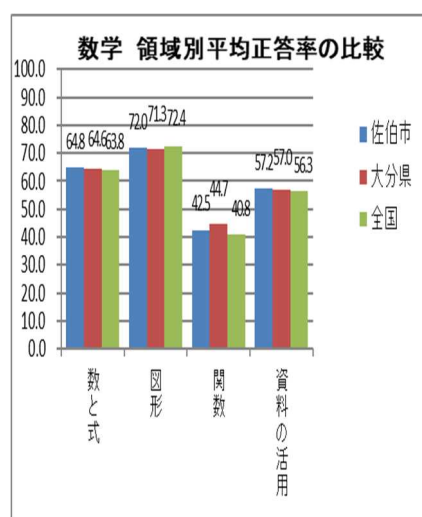
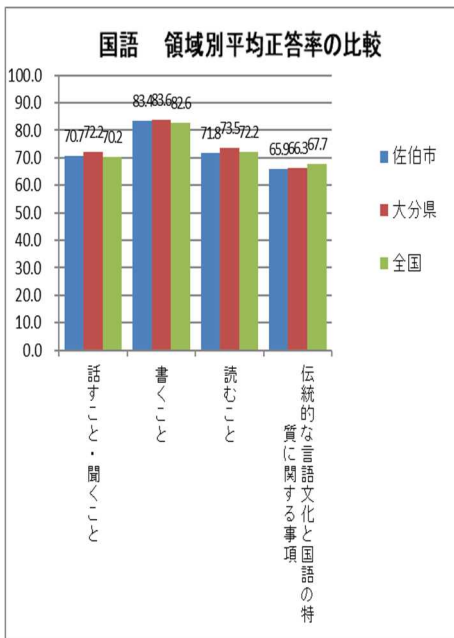
	国 語		数 学		英 語	
	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)
佐伯市教育委員会	7.3 / 10	73	9.7 / 16	60	11.4 / 21	54
大分県(公立)	7.4 / 10	74	9.7 / 16	61	11.6 / 21	55
全国(公立)	7.3 / 10	72.8	9.6 / 16	59.8	11.8 / 21	56.0



中3国語	平均正答率(%)		
領域別正答率	佐伯市	大分県	全国
話すこと・聞くこと	70.7	72.2	70.2
書くこと	83.4	83.6	82.6
読むこと	71.8	73.5	72.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.9	66.3	67.7
	は全国平均以上		

中3数学	平均正答率(%)		
領域別正答率	佐伯市	大分県	全国
数と式	64.8	64.6	63.8
図形	72.0	71.3	72.4
関数	42.5	44.7	40.8
資料の活用	57.2	57.0	56.3
	は全国平均以上		

中3英語	平均正答率(%)		
領域別正答率	佐伯市	大分県	全国
聞くこと	65.0	66.4	67.9
読むこと	54.1	55.3	55.6
書くこと	45.1	45.4	45.8
	※「話すこと」については、参考値 は全国平均以上		



小学校国語

佐伯市の平均正答率	64%
大分県の平均正答率	67%
全国の平均正答率	64%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 14問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・2問（大分県3問、全国3問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・7問（大分県14問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・4問（大分県4問、全国4問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・7問（大分県0問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<課題があるとみられる問題>

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ◆1四（1）ウ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

ウかんしんをもってもらいたい

（全国比－9.2%・26.4%）

→学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

【書くこと】

- ◆1一 図表やグラフなどを用いた目的を捉える。（全国比－4.8%・65.4%）

→報告文で地図やグラフを用いた目的を、文章の内容との関係から捉えることに課題がある。

- ◆1二 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える。

（全国比－4.1%・67.5%）

→公衆電話の使い方や持ちようについての書き方の工夫を捉えることに課題がある。

②具体的な改善方策

○漢字を読んだり書いたりする機会を意図的・計画的に設定し、習得を目指す。

- ・新出漢字を繰り返し練習することにとどまらず、自分が書いた文章を見直す学習などの中で、文脈に沿った正しい使い方を習得するようにする。
- ・各学年の発達段階に応じた指導を工夫するようにする。特に高学年では、熟語などの語句の使用が増加する時期でもあり、漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義語に注意して使ったりする習慣を身に付けるようにする。

○目的や意図に応じ、情報を相手にわかりやすく伝えるための記述の仕方を工夫する活動を位置付ける。

- ・教材文等を利用して記述の仕方の工夫を捉え、その目的や効果などを考える学習を取り入れるようにする。
- ・相手や目的を明確にし、どのように書くと伝わりやすいかを考えて書くことを習慣付けるようにする。
- ・教材文等を利用して、筆者が図表やグラフを用いて書いた目的や効果などを考える学習を取り入れるようにする。
- ・自分で作成したり、本や文章から引用したりして、伝えたい内容にふさわしい図表やグラフを用いて文章を書くことができるようにする。

小学校算数

佐伯市の平均正答率	63%
大分県の平均正答率	67%
全国の平均正答率	67%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 14問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・3問（大分県4問、全国3問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・2問（大分県10問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・6問（大分県3問、全国4問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・12問（大分県4問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<課題があるとみられる問題>

【量と測定】

- ◆1(3) 減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く。(全国比-7.4%・36.5%)
→示された図形の面積の求める式の解釈を、図形の構成に着目しながら、言葉や数を用いて記述することに課題がある。

【数量関係】

- ◆2(3) 2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く。(全国比-3.9%・48.2%)
→2つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、1人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を記述することに課題がある。
- ◆2(4) 洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6+0.5\times 2$ を計算する。
(全国比-6.8%・53.3%)
→加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることに課題がある。

②具体的な改善方策

- 示された式を解釈し、求め方について説明することができるようにする指導を充実させる。
 - ・図形の構成についての見方を働かせ、面積の求積公式が既習である図形で構成されている形と捉えることができるようにすることが大切。その上で、数の意味や演算の意味などを、図形と関連付けて説明できるようにする必要がある。
 - ・図を基に式に表したり、図と関連付けて式を解釈したりする活動を様々な学年で取り入れる。
- 資料の特徴や傾向を読み取り、判断することができるようにする指導を充実させる
 - ・目的に応じて、必要な資料を収集し、複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料からは判断することができない事柄について判断することができるようにすることが大切。具体的な場面と関連付けながら確実に理解できるように配慮する。
- 授業の中で自分の考えを説明したり、記述したりする機会を増やす必要がある。
 - ・数量や図形、数量関係を考察して見いだした「事実」、問題を解決するための「方法」、判断や考えの「理由」のいずれを記述させようとしているのかを意識して、活動を設定していく。
 - ・低学年のうちから、児童自らが言葉や式で一般化して表現しようとする態度を育てていく。また、そのことが、自分の考えを相手にわかりやすく説明したりわかりやすく伝え合ったりする上で有効であると実感できるようにする。

中学校国語

佐伯市の平均正答率	73%
大分県の平均正答率	74%
全国の平均正答率	73%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数10問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・2問（大分県3問、全国3問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・5問（大分県8問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・2問（大分県1問、全国1問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・5問（大分県2問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<課題があるとみられる問題>

【読むこと】

- ◆1二 「海外に広がる弁当の魅力」を読み、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。
（全国比－2.3%・59.2%）
→文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ◆1四 封筒の書き方を理解して書く。（全国比－0.6%・56.2%）
→投稿先の名前と住所を、「縦書き」「御中を用いる」という2つの条件を守って書くことに課題がある。
- ◆4 話したり書いたりする際に「インターネット」のことを「ネット」というなど、語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選ぶ。（全国比－3.0%・75.7%）
→語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解することに課題がある。

②具体的な改善方策

○目的に応じて文章を読み、内容を整理したり、要旨を捉えたりする活動を充実させる。

- ・生徒自身が目的意識をもって文章を読み、必要な情報を整理することができるように指導を工夫することが重要。
- ・例えば、目的をもって文章を読み、必要な情報を過不足なく取り出すことができているかということに加え、どのようにすればその情報にたどり着くことができるのかについて検討するなどの学習活動が考えられる。

○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」についての指導を充実させる。

- ・手紙の基本的な形式に基づき、文字の大きさや配列に注意するなどして丁寧に読みやすく書くように指導することは、社会生活に役立つ書写の能力を育むために重要である。相手の名前を他の文字より大きく書くことなど、手紙の形式に込められた相手への敬意についても考えさせることが大切。
- ・語感を磨き語彙を豊かにするために、授業の中で語句の意味や表現の工夫等について確認するだけでなく、他教科や日常生活の中でも相手や目的に合った表現の工夫について意識させることが大切。

中学校数学

佐伯市の平均正答率	60%
大分県の平均正答率	61%
全国の平均正答率	60%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 16問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・1問（大分県1問、全国1問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・11問（大分県11問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・9問（大分県8問、全国9問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・5問（大分県5問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<課題があるとみられる問題>

【資料の活用】

- ◆5 2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める。
（全国比－4.8%・68.0%）
→確立を求める際の起こり得る場合の数について調べることに課題がある。

【図形】

- ◆7（1） 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。
（全国比－5.4%・70.4%）
→証明を読み、根拠を見いだすとともに、当てはまる三角形の合同条件を記載することに課題がある。
- ◆7（3） 四角形ABCDがどんな四角形なら $AF = CE$ になるかを、「・・・ならば、・・・になる」という形で書く。（全国比－2.4%・50.9%）
→結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見出し、説明することに課題がある。

【数と式】

- ◆9（1） 連続する3つの奇数の和を計算した結果である $6n + 9$ を、 $3(2n + 3)$ と変形した目的について説明した文章にあてはまる式と数を書く。
（全国比－1.6%・55.8%）
→与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることに課題がある。

②具体的な改善方策

○生徒が事象を数理的にとらえ、問題発見・解決する「数学的なプロセス」を重視した授業を行う必要がある。

- ・調査問題の枠組みを参考にし、①事象における問題を数学的に捉え、②構想・見通しを立てて解決し、③解決の過程や結果を振り返って考察したりする学習の流れを、生徒に必要な力を意識して、設定することが大切である。

○説明する内容や意図について明確に示しながら、生徒が数学的に説明する次のような活動を取り入れることが必要である。

- ・「事柄・事実の説明」・・・見いだした事柄や事実を、「○○（前提）ならば、□□（結果）になる。」のような形で説明する。
- ・「方法・手順の説明」・・・用いるもの（表、式、グラフ等）を明確にしたうえで、方法や手順を的確に説明する。
- ・「理由の説明」・・・ある事柄が成り立つ理由を、「○○（根拠）であるから、△△（成り立つ事柄）である。」のような形で説明する。

○確立を求める際の起こり得る場合の数について調べる学習では、算数（第6学年）の学びを振り返り、樹形図や表を用いて、落ちなく数えることができるように指導することが大切である。

中学校英語

佐伯市の平均正答率	54%
大分県の平均正答率	55%
全国の平均正答率	56%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 21 問

- ◇平均正答率 80% 以上の問題・・・2 問（大分県 3 問、全国 3 問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・5 問（大分県 8 問）
- ◆平均正答率 60% 未満の問題・・・8 問（大分県 7 問、全国 9 問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・16 問（大分県 13 問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<課題があるとみられる問題>

【聞くこと、読むこと、書くこと】

[聞くこと]

- ◆1 (4) 日常的な話題について、情報を正確に聞き取る。
(全国比－3.9%・57.9%)
→take a bath という情報、before dinner という前置詞句の時間的な順序性を正確に聞き取ることに課題がある。

[聞くこと、書くこと]

- ◆4 聞いて把握した内容について、適切に応じる。(全国比－2.5%・5.1%)
→メッセージの内容を聞き取ることと、自分の考えを正しく英文にすることに課題がある。

[読むこと]

- ◆7 まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる。
(全国比－1.9%・30.9%)
→説明文の読み取りに課題がある。

[読むこと、書くこと]

- ◆8 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見を捉えることができる。(全国比－3.8%・7.1%)
→内容を読み取り、自分の考えを正しく英文にすることに課題がある。

[書くこと]

- ◆9 (2) ②基本的な語や文法事項等を理解して、正しく文を書く。
(全国比－10.4%・18.5%)
→一般動詞の一人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことに課題がある。
- ◆9 (3) ②与えられた情報に基づいて、三人称単数現在時制の肯定文を正確に書く。
(全国比－2.6%・30.3%)
→基本的な語や文法事項を理解して文を書くことに課題がある。
- ◆9 (3) ③与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書く。
(全国比－3.5%・33.9%)
→基本的な語や文法事項を理解して文を書くことに課題がある。
- ◆10 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意をしてまとまりのある文章を書く。全国比 (+0.1%・1.9%)
→ピクトグラムをみて、どちらの方がよいか自分の考えを持ち英文にすることに課題がある。

②具体的な改善方策

- 「聞くこと」の指導において授業を英語で行い、教室をコミュニケーションの場とし、自然な口調で話される英語を聞くことを日常化するとともに、情報を正確に聞き取る活動を多く取り入れる。
 - ・自然な口調で話される英語を聞いて、情報を正確に理解する活動を多く行う。
- 「聞いて書く」「読んで書く」等技能統合の活動を行う。
 - ・技能統合の活動を多く行い、与えられたテーマについて自分の考えを持ち英文で書き表す活動を取り入れる。
- 「書くこと」の指導の際に、基本的な語や文法事項の理解を図る。
 - ・主語の人称やそれに伴う動詞の活用等基本的な語や文法事項の定着を図る。

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

1 調査結果の概要

数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な解答の数値

◎は全国値より10%以上上回る ○は全国値以上

▼は全国値未満

着色は昨年度より改善が見られるもの

【小学校】授業に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯
29	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	▼ 27.1	30.3	28.7
31	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	○ 25.6	25.1	
34	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	▼ 38.0	42.1	
35	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	▼ 30.3	33.0	23.6
36	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	▼ 20.8	24.7	18.1
37	国語の勉強は好きですか	○ 27.7	26.5	
39	国語の授業の内容はよくわかりますか	▼ 40.2	41.2	
42	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	▼ 35.6	36.2	
46	算数の勉強は好きですか	▼ 34.3	40.6	28.3
48	算数の授業の内容はよくわかりますか	▼ 45.4	49.3	35.7
54	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	▼ 47.8	48.4	44.2
55	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	▼ 55.2	57.5	61.4

【小学校】家庭学習に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯
17	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	▼ 31.5	33.1	26.2
18	普段（月～金曜日）、1時間以上勉強していますか	○ 70.7	66.1	72.3
19	普段（月～金曜日）、1日当たり30分以上読書をしていますか	▼ 36.1	39.8	36.4

【小学校】学びに向かう力に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯
5	自分には、よいところがあると思いますか	▼ 28.0	38.8	33.2
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	○ 45.6	43.1	52.3
7	先生は、間違えたところや理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか	○ 64.9	59.5	
8	将来の夢や目標を持っていますか	▼ 57.7	65.9	64.3
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	▼ 53.5	53.9	
13	学校のきまりを守っていますか	○ 48.5	46.7	46.6
15	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	▼ 80.8	85.0	88.3
16	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	▼ 69.6	74.7	74.5
22	新聞を読んでいますか	▼ 2.4	7.0	2.5
23	今住んでいる地域の行事に参加していますか	○ 37.5	37.2	35.4
24	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	▼ 17.9	18.9	13.5
26	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか	▼ 36.3	39.2	

【中学校】授業に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯	
19	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	▼	33.3	46.4	28.8
34	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	○	30.0	20.3	
37	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	▼	26.2	29.3	21.6
38	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	▼	17.0	18.1	12.9
39	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	○	35.4	34.0	
40	国語の勉強は好きですか	○	27.7	24.6	
42	国語の授業の内容はよくわかりますか	○	32.0	28.4	
45	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	○	34.5	32.5	
49	数学の勉強は好きですか	○	33.1	30.7	22.5
51	数学の授業の内容はよくわかりますか	○	38.6	34.8	20.5
54	英語の勉強は好きですか	▼	27.7	29.0	
56	英語の勉強はよくわかりますか	▼	27.5	29.5	

【中学校】家庭学習に関すること

17	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	○	17.0	14.9	15.6
18	普段(月～金曜日)、2時間以上勉強していますか	▼	32.0	35.5	34.2
19	普段(月～金曜日)、1日当たり30分以上読書をしていますか	○	32.0	27.0	33.5

【中学校】学びに向かう力に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯	
5	自分には、よいところがあると思いますか	▼	27.2	29.0	31.0
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	○	35.2	31.3	33.6
7	先生は、間違えたところや理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか	○	40.4	37.3	
8	将来の夢や目標を持っていますか	○	46.6	44.9	43.0
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	○	48.9	45.7	
13	学校の規則を守っていますか	▼	62.7	66.8	56.5
15	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	○	81.6	78.3	79.3
16	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	○	76.2	71.1	71.0
22	新聞を読んでいますか	▼	3.2	4.4	3.7
23	今住んでいる地域の行事に参加していますか	○	23.2	21.0	18.2
24	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	○	17.2	11.5	11.5
26	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	○	34.3	33.0	
27	学校の部活動に参加していますか。	○	80.5	66.4	

2 児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

- ・「授業に関すること」「家庭学習に関すること」「学びに向かう力に関すること」の質問項目において、昨年度より改善が図られた項目が多いが、依然として全国値よりも割合が低い項目が見られる。児童生徒の回答を真摯に受け止め、具体的な改善方策につなげていくことが求められる。
- ・家庭学習時間の達成度は、小・中学校ともに、昨年より割合が低くなっている。1日当たり30分以上読書をする児童生徒の割合も小・中学校ともに低くなっている。引き続き学習内容や方法等の手立てを講じながら指導していく必要がある。

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要

◎は全国値より10%以上上回る ○は全国値以上

▼は全国値未満

着色は昨年度より改善が見られるもの

【小学校】授業に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯
9	児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	▼ 26.3	38.8	52.6
11	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたか	◎ 31.6	20.8	26.3
12	学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたか	◎ 68.4	50.4	52.6
13	学習規律の維持を徹底したか	○ 57.9	57.8	63.2
32	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う	◎ 26.3	16.9	21.1
33	総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしたか	◎ 57.9	29.1	
36	特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしているか	○ 42.1	40.2	
37	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたか	◎ 52.6	22.2	26.3
38	各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができる機会を設けたか	◎ 47.4	18.1	31.6
39	国語の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	○ 36.8	31.9	
40	国語の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	○ 21.1	9.2	
45	算数の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	◎ 68.4	53.7	36.8
46	算数の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	▼ 15.8	16.9	15.8

【小学校】家庭学習に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯
59	家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った	◎ 63.2	47.0	68.4
60	家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた	◎ 68.4	49.9	47.4
61	国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えた	◎ 94.7	78.4	
62	国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導した	◎ 78.9	60.2	

【小学校】教育課程に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯
15	学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列している	◎ 52.6	34.6	57.9
17	教育課程の編成、実施、評価、改善のPDCAサイクルを確立している	◎ 63.2	37.3	57.9
19	言語活動について、国語科だけではなく、学校全体として取り組んでいる	◎ 63.2	46.8	47.4
18	教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源を効果的に組み合わせている	◎ 73.7	46.9	63.2
51	近隣等の中学校と教育課程に関する共通の取組を行っている	○ 31.6	22.8	26.3
57	CSなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行ったか	◎ 57.9	39.1	26.3

【中学校】授業に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯
9	生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	○ 58.3	53.2	52.6
11	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたか	○ 58.3	49.5	26.3
12	学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたか	◎ 91.7	45.9	52.6
13	学習規律の維持を徹底したか	◎ 75.0	63.8	63.2
33	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う	◎ 33.3	14.5	21.1
34	総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしたか	◎ 50.0	32.7	
35	道徳の時間において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしたか	▼ 33.3	38.6	
37	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたか	◎ 83.3	20.8	26.3
38	各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができる機会を設けたか	◎ 41.7	14.5	31.6

40	国語の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	◎	41.7	27.8	
41	国語の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	◎	41.7	15.1	
46	数学の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	◎	58.3	41.5	58.3
47	数学の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	▼	16.7	19.1	50.0
50	英語の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	◎	58.3	33.4	
51	英語の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	◎	33.3	18.2	

【中学校】家庭学習に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯	
73	家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った	○	58.3	36.9	68.4
74	家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた	◎	75.0	38.6	47.4
75	国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えた	◎	83.3	45.2	
76	国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導した	◎	91.7	49.7	
77	英語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えた	◎	91.7	55.9	
78	英語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導した	◎	75.0	53.0	

【中学校】教育課程に関すること

NO	項目	H31佐伯	H31全国	H30佐伯	
15	学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列している	◎	66.7	29.1	57.9
17	教育課程の編成、実施、評価、改善のPDCAサイクルを確立している	◎	58.3	33.9	57.9
18	教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源を効果的に組み合わせている	◎	66.7	29.4	63.2
19	言語活動について、国語科だけではなく、学校全体として取り組んでいる	◎	58.3	42.4	47.4
65	近隣等の小学校と教育課程に関する共通の取組を行っている	○	41.7	26.1	26.3
71	CSなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行ったか	○	50.0	24.7	50.0

2 学校質問紙調査の結果をふまえて

- ・「授業に関すること」「家庭学習に関すること」「教育課程に関すること」の質問項目の大半で全国値を上回っており、各学校の授業内容や家庭学習の充実のための取組、充実した教育課程の編成が進んでいることがわかる。
- ・課題としては、「授業に関すること」で、「授業中の私語が少なく落ちついている」と回答した小学校の割合が、昨年度52.6%であったのに対し、今年度26.3%と半減したことである。「学習規律の維持を徹底した」と回答した小学校の割合も、昨年度比で5.3%減少していることから、早急に学習規律の徹底に向けた指導を図り、改善を目指す必要があると言える。（中学校については、いずれの項目の数値も改善している。）
- ・「総合的な学習の時間で探究の過程を意識した指導をした」と回答した割合は、（小57.9%・中50.0%）で、全国値を大きく上回った。しかし、児童・生徒質問紙での質問項目「総合的な学習の時間で自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるか」についての回答（小25.6%・中30.0%）から、子どもの意識との差が大きいことが懸念される。
- ・昨年度、小・中ともに全国値に及ばなかった「習熟・活用・探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫」については、今年度大きく改善が図られ、全国値を大きく上回った。「主体的・対話的で深い学び」が保障できるような一時間ごとの授業、単元全体の構成の工夫を、今後も継続して行う必要がある。

今後の取組について

①個に応じた指導の徹底

- ・個に応じた指導の充実のための「問題データベース」「タブレットドリル」の導入と活用促進。
- ・上位層のレベルアップを図る指導・・・個に応じた課題（活用問題）。
- ・中位層のレベルアップを図る指導・・・個に応じた課題（弱点補強）、少し難しい問題、課題。
- ・下位層への確実な定着を図る指導・・・個に応じた課題（弱点補強）、授業と家庭学習、補充学習の連動、
徹底。
- ・（豊後高田市「学びの21世紀塾」の視察。）

②主体的な取組推進のための校長研修会の実施

- ・先進校の取組についての講義や各校の効果的な取組についての情報交換をもとに、佐伯市全体の学力向上の具体的方策について立案。

③調査結果の分析、各学校への指導助言（8～9月）

- ・市教委内、各学校毎に調査結果の分析、取組の評価・検証。
- ・教育長による校長面談を実施し、各学校が検討した具体的方策等への指導助言

④重点対策校の取組の評価・検証と指導の継続

- ・重点対策校の取組の評価・検証を行い、今後の具体的方策を検討。
- ・課題の見られる学校や波及効果の大きい学校等を総合的に勘案し、重点対策校の入れ替えを検討。

⑤授業での問題データベースの有効活用による授業改善と活用問題への強化

- ・問題データベースの活用問題を単元のまとめの授業で扱う。
- ・補充学習、家庭学習でも出題する。